

授業改善等に関する報告書（2024 年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

【2024（後期）生活環境学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
I C T 基礎演習	佐藤 健	情報科教員免許に必要な科目として、最後の授業となりました。 記念に、ワークステーションを組み立てられてよかったです。Unixサーバーも稼働できました。この科目は無くなってしまい、人間工学研究室の内部での地味な活動に吸収されます。
アパレルデザイン実習 a	滝澤 愛	本学科のアパレル分野の被服造形（洋裁系）の授業は1年生で1つ、2年生でも1しかなく、然しながら他大学同分野と同じレベルの学習を担保するために、低学年でせめてやっておきたい基礎アイテム、上衣のブラウス、下衣のスカートの学習をこの授業内で行なっています。2つのアイテムを高い完成度で完遂させるにはシラバスにも記載し、1回目の授業でも必ず行うよう伝えた事後学習が毎回必要でしたがきちんと事後学習をしましたか？事後学習をせず、回を進める毎に、遅れを生じさせている学生が散見されましたが、学年が上がるとより専門性も難易度も上がりますので事後学習を徹底した方がいでしょう。毎回の復習で、技術や学びが定着します。それ無しには学習効果が得られません。自分の作業のスピード、技術力を把握し、計画的に作業を進めることも大切です。この授業をきちんと受講していたのであれば、工業用パターンとその縫製、そして服飾造形の基礎力が身に付いたのではないかと思います。3年生以降のジャケット等、応用的なアイテムの造形に活かしてください。
アパレルデザイン総合実習	磯崎 明美	ジャケットの構造を理解しながら、工程数の多い作品製作を限られた時間の中で完成させることは、初めてジャケット製作に携わる場合、授業外の学習時間が増え、授業の進度が早く感じられたかと思います。そのような中で、時間外でも確認できる縫製の手法に関する動画の要望や、時間配分に関する貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。また、作品の完成に関する満足度についても嬉しい感想をいただきました。今後はさらに上手くできるように、教材の改善を検討しようと思います。例えば、視覚的に理解しやすい標本を増やしたり、示範と実習を細かく分けて同時に進めることで、理解を深めるような取り組みを行ないます。
アパレル生産	大川 知子	3ヶ月半の授業、お疲れ様でした。「アパレル生産の基礎を学ぶことが出来た」との多くのコメントをいただき、良かったです。特に反響があったのは、テキスタイルの展示会の視察です。学生のみなさんにとっては、いつもの教室 ≠ 自宅との単純往復では無く、ファッション産業に従事される方々との、ヴィヴィッドな出会いの場ともなったことが、コメントからも伺え、何よりです。引き続き、良き学びを続けて下さい。
アパレル製作基礎演習	滝澤 愛	1年生の他の担当科目であるファッションドローイング同様、受講生の意欲の二極化が顕著であり、欠席した末、落第する学生非常に多かった。ただし、最後まで受講した学生からのみのアンケートだと思うが、全体の設問、「自分の成長が実感できたか」、「この科目を更に学びたいと思ったか」、「総合的授業の満足」が5.0、「意欲的に取り組んだか」が4.67と非常に高く、14回の授業を最後まで学習した学生には、非常に学びが多く、今後の服飾造形への興味、意欲が高まったことが伺える。この授業では服飾造形の基礎の基礎と量産型の生産法でワンピースを制作したが、この基礎技術を土台に、今後の服飾造形の技術力、造形力の発展に加え、デザイン力、表現力を高めることで、楽しく制作に取り組んでほしい。
インテリアコーディネート論	山口 照也	授業アンケートへのご協力、ありがとうございました。回答者が7/17人（41.2%）でしたが謙虚に受け止めて次のようにコメントします。 ①「成長実感の記述」と「自由記述」に3点のコメントがありました。「論理的に考える力が身についた」「インテリア製品を見た時に、どんな働きや影響があるのか考えるようになった」と好評価のコメントでしたが、意見が1点ありました。「最終レポート課題の提出フォーマットをWordで欲しい」という意見です。用紙内のレイアウトもコーディネートなので自由にしていたのですが、次年度からは「レイアウト例としてWordでのフォーマットを掲載するようにします。 ②「あなた自身について」の項目で、「欠席回数」が当該区分平均や全体平均より多いことは、皆さんで改善して欲しいです。「予習復習時間」は昨年度より少なくなり、当該区分平均より少なくなっています。「理解度」も昨年度より低くなり、当該区分と全体平均より低くなっているのが問題です。「欠席回数の多さ」と「予習復習時間の少なさ」が原因と考えられます。 ③「この授業の内容と方法について」の各項目は、昨年度より良くなっているものもありますがほとんど当該区分平均や全体平均より悪いです。原因の1つが「原則配布プリント無し」のような気がします。ワークシートの実施者も少なかったので再検討していきます。 ④「全体について」では、ほとんどが当該区分平均や全体平均より低く、昨年度より悪くなっている状態です。本年度はインテリアコーディネーター資格試験の受験予定割合が低いことも関係していそうですが、「授業方法」との関係があるはずなので再検討していきます。

【2024（後期）生活環境学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
インテリアデザイン論	山口 照也	manaba授業アンケートへのご協力、ありがとうございました。回答者は50/87人（57.5%）でしたが謙虚に受け止めて次のようにコメントします。 ①「成長の実感の記述」と「自由記述」に31点のコメントがあり、昨年度とほぼ同数でした。「理解が深まった」「色々な方向から考える力がついた」「ワークシートを毎回提出したことで図面を描くことにだいぶ慣れた」等、好評価のコメントが多かったのですが、「講義だけだと退屈なので途中に話し合いの時間を設けて欲しい」という意見が1点あったので検討してみます。また「ワークシートの取り組み方がよく分からなかった」という意見が1点ありましたが、演習用ワークシートは必須ではなく建築士やデザイナーを目指している人向けなので、ある程度の製図の知識が必要なので理解して欲しいです。 ②「あなた自身について」の項目で、「欠席回数」は昨年度より少なく、当該区分平均や全体平均より少ないです。「予習復習時間」は昨年より少なくなっていて、当該区分平均より少なく全体平均より多い状態です。「理解度」が昨年より悪くなり、当該区分平均や全体平均より悪くなってしまいました。「理解度」が昨年より悪くなっている原因は「予習復習時間の少なさ」も関係していると思います。 ③「この授業の内容と方法について」では、「授業の進むスピード」以外は当該区分平均や全体平均より悪い結果となってしまいました。昨年度は良かったのに、配布プリント無しが原因なのかオンデマンドから対面授業になったことが原因なのか、原因を探りながら検討していきます。 ④「全体について」も、昨年度より悪くなり、当該区分平均や全体平均より悪くなってしまったので、「授業方法」を検討していきます。
テキスタイル管理実験	塩原 みゆき	衣料管理士資格取得に必要な実験実習であったが、実験を行わないゼミ生の学生にとっても、満足できる内容と実習だったことが伺える。 今回、実験が終わるたびに、丁寧なフォローをやっていったが、来年度も丁寧にフォローしていきたい。
テキスタイル材料学	加藤木 秀章	授業内容を復習するとより学修に効果的になります。また自主的に身近な製品を調べてみることも効果的です。
デザインワークショップ	内藤 将俊	本講義は、建築・インテリア構法の発展版として、木造や鉄骨造、鉄筋コンクリート造について、それらの施工手順を理解したうえで構造的特性などについて修得すること、そして、木造については、軸組み図やモデルの作成、さらには、壁量計算を修得することで、各自が木造2～3階建ての住宅を完全に設計できるまでに技術を向上させることに主眼を置いています。極めて高度な内容でしたが、アンケート結果や授業の提出物、参加する姿勢から判断して、非常に前向きに取り組んで下さったと思います。とりわけ、軸組みモデルの完成度が非常に高く、各々の努力が十分に伝わってきました。
デザイン基礎演習 d (Aクラス)	一色 ヒロタカ	非常勤時代より担当して2年目となる当講義ですが、講義手順なども滞りなく進行できたものと思われます。昨年度よりも模型製作技術は全般的にレベルが上がっており、次に続く生活空間設計製図1へ期待できる成果でした。日常的に模型を作成することに慣れ、特に、建築・住環境系を目指す学生は、模型スキルの更なる向上を目指してもらえればと思います。
デザイン基礎演習 d (Bクラス)	一色 ヒロタカ	非常勤時代より担当して2年目となる当講義ですが、講義手順なども滞りなく進行できたものと思われます。昨年度よりも模型製作技術は全般的にレベルが上がっており、次に続く生活空間設計製図1へ期待できる成果でした。日常的に模型を作成することに慣れ、特に、建築・住環境系を目指す学生は、模型スキルの更なる向上を目指してもらえればと思います。
パターン設計論	樋口 吉徳	アンケート拝見しました。 回答数が少なく判断しかねるところが有ります。 初めてで なおかつ 今季限りの講義でしたので様子もわからず 只 学生にとって楽しい授業で有った事を望むばかりです。
ファッションドローイング	滝澤 愛	本授業の内容は、同時期に他大学でも全く同じものを行っており、既に10数年間、ブラッシュアップしながら続けている内容である。受講生の過半数が受講を諦め、アンケートの結果で、「あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか」について3.75と低く、実際、最後のポートフォリオを完成させた学生は受講生の半分以上の僅か5名であった。この10数年間、ほぼ全ての同内容授業の受講学生が最後のポートフォリオ、プレゼンテーションまできちんと完遂させてきており、今期の他大学の学生もそうであった。がしかし、その真反対の欠席が異常に多いなどの受講意欲の低さ、もう少しで終わる課題をあっけなくやめて提出を諦める、クリスマスイブの受講日には2人しか学生が出席しなかったなど、今までにないことが多々あり非常に驚いている。おそらく、自分の服がおしゃれすることは好きではあるものの、実際にファッションデザインを専門的に学ぶことに対し、興味が全く湧かない学生がマジョリティなのではないだろうか。ただ、1年生でこのスタンスの学生が多いことは由々しい。頑張って最後まで完成させた人は、このまま、人に流されず頑張り抜くことを貫いてください。よく頑張りました。落第した学生の方は、2年生以降、別の授業でこのような態度でないことを願います。

【2024（後期）生活環境学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
ファッションビジネスの世界	大川 知子	3ヶ月半の授業、お疲れ様でした。「ファッションビジネス」の基本について、主に歴史を通じて学ぶことに対する評価をいただき、みなさんからのコメントを嬉しく拝読しました。リフレクションを通して、文章力をブラッシュアップ出来たという意見も、複数いただきました。 どの授業でもタイミングが合えば、より理解を深めるために展覧会等を見学していただくことを行っています。「費用のことを書いて欲しかった」とのコメントをいただいた方もいらっしゃいましたが、シラバスにも記載しておりましたので、改めて確認いただければと思います。 今回をきっかけに、ファッションを「ビジネスの視点から見ること」が出来るようになったとしたら、この科目の目的は達成出来たと考えます。引き続き、良い学びを続けて下さい。
プロダクトデザイン演習	安齋 利典	授業を受けていただきありがとうございます。 履修者が2名であったため、お互いに助けあったり、競い合うようなことにはならず、大問Ⅱ、大問Ⅲの評価が極めて低く残念に思っております。 大問Ⅰからは、若干が少なく、事前事後学修も全体平均の2倍近くやられていたが、理解度は低かったようです。 大問ⅡはQ9. の授業資料のわかりやすさ以外は全て低い評価でした。 大問Ⅲも、全て低い評価でした。 Q12. の具体的に成長を実感したことについては「家電製品の構造について実際に作ってみてよく学んだ」と言う実感が書かれており、実際にやってみることの大切さがわかったかと思いました。 また、Q19では「他の家電製品も作ってみたい」と言う前向きな意見、「少人数の授業は新鮮で難しいところもありましたが、良い体験になったと思います」という意見もいただき、履修生の数は重要だと思いました。
マーケティング論	大川 知子	3ヶ月半の授業、お疲れ様でした。「マーケティングの基礎を体得出来た」という声を多くいただき、嬉しく思います。社会の変化は、今後、更に加速していきます。ご自身のモノを見る視点を、至近的では無く、社会の事象全般に、広く持つ意識を忘れずにいて下さい。
ワークショップ演習	一色 ヒロタカ	新カリキュラムとして始まった新しい授業ということもあり、学生の興味の方向性も探りながら授業を進行していきました。55名の履修生を12のグループに分けてのグループワークで進める演習は、教員と助手が走り回る形ですが、取り残されるようなグループが生まれることなく、シラバスの目標とした成果に繋がったのではないかと推察します。一方で、講義中の進行に合わせて机を組み替えてのグループワークを実施することや、ワークの成果物（模造紙へ付箋を貼り付けたもの）を掲示して発表するというワークショップのスタンダードな形式を実現するには教室の壁面の不足や、机と椅子の自由度不足により、学生に多くの制限を与えてしまったという反省もあります。今後増えていきますグループワークに合わせて、教員側でも授業環境の更なるアップデートを図っていきたいと考えています。
基礎造形演習	安齋 利典	授業を受けていただきありがとうございます。 大問Ⅰから、事前事後学修を多くやっていたいたが、理解度はやや良くなかったことがわかりました。 大問Ⅱから、他の科目と比べてスライド等は分かりやすいが、スピードが速く説明が聞き取りにくかったようで申し訳ありません。 大問Ⅲからは、成長が実感でき、満足できたが、成績の評価が低く、作品に自信が持てなかったからかと想像しております。 Q1. 12の「具体的に成長を実感したこと」に対して、 ・イラストレーターや立体図形などのデザインと知識を身につけることができた ・発想力で、様々な視点から見る事が出来た。 ・演習を通して、造形についての理解が深まった。 ・ものやことから発想する力をつけられた。 等、狙い通りの成果があったものと考えております。 Q1. 19. の「自由記述欄」では、 ・この授業を受けていたから、他の授業でイラストレーターの使い方に困ることが少なかったのではないかなと思うので、14回受けて良かったと思う ・イラストレーターは、最初は苦戦したけど徐々にできることが増えてきて使いこなせるようになったので良かった。 などの意見をいただきました。少々強引なところもありましたが、イラストレーターは今後仕事でも使うことになると思うので習得していただいて良かったと思います。 この授業は今年度で終了となります。2年間のみでしたが、履修いただきありがとうございました。

【2024（後期）生活環境学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
基礎造形論	安齋 利典	授業を受けていただきありがとうございました。 大問Ⅰ 欠席はやや多かったものの、予習復習の時間も長く、何よりも理解度の割合が比較的高く、安心いたしました。 大問Ⅱ Q6. のスピードやQ9. の授業の資料類の評価も比較的良く、今後も継続していきたいと思います。 大問Ⅲ Q11. の成長ができた、Q13. さらに学びたいと思う、Q15. の満足度などが比較的良い評価であったが、Q16. の意欲的に取り組みがやや低く残念に思っております。 Q12. 具体的に成長を実感したこと に関しては、「基礎造形の知識が身についた」という意見が多数あり、「ポートフォリオを作成することで理解が深まった」という心強い意見もありました。安心しました。 Q19. の自由記述では「造形の成り立ちと、造形によってものが成り立つということを学べた」という意見があった反面「マイクの音が小さすぎて聞き取りづらい時がありました」という改善点もわかりました。
建築デザイン論	内藤 将俊	本講義は、住宅や建築写真、家具、照明、構造、公共建築、デジタルデザインなどの分野で、日本や世界で活躍しているトップランナーの先生方にご協力をいただき、プロとしての実践を皆さんにお伝えすることに主眼を置いてきました。アンケート結果から判断して、皆さんに学びを実感していただけたと感じます。今度は、皆さん自身が各分野で活躍できるよう、積極的に挑戦してみてください。
建築構造	橋 弘志	建築構造は難しいと感じていた人も多いようですが、基礎から着実に積み上げていくことがなによりも重要です。面倒くさがらずにやり方通りに進めていけば、誰でも理解でき、解けるものになりますが、うる覚えのまま計算途中を飛ばしてしまうタイプの人は苦勞したはずです。以前までは、最初の確認テストで合格できなかった人に対する居残りシステム（相談タイム）を取り入れていましたが、時間割の関係でそれができなかったことも影響があったかもしれません。
住居デザイン論	橋 弘志	オンデマンドの授業ではあるが、なるべく図や写真、実際の身体の動き等が見えるような内容として、具体的にイメージしやすくして、少しでも理解が深まることを期待している。途中で考えて書き込んだり、作業なども行うことで、オンデマンドでありながら一方的に視聴するだけでなく、双方向的な授業に近づけていると考えている。さまざまな住居デザインや住居のあり方に関心がもてたら、本や雑誌を見たり、自分でどんどん興味を広げていってもらえることを期待したい。
消費生活学	塩原 みゆき	消費者生活学は消費者問題を扱う授業で、毎回、課題を出し、レポートを提出してもらう。身近に消費者トラブルを実感し、その解決法、対策等を自身で感る力を養ってもらいたい重要な科目と考えているので、さらに、授業内容を分かり易く説明する工夫を心掛けたい。
色彩学	河西 大介	学生アンケートの結果を踏まえ、授業の質をさらに向上させるために、学習意欲を高める実社会の事例をより多く取り入れていきます。また、オンデマンドの授業であることから、よりわかりやすく丁寧な解説を心がけていきます。
色彩設計演習 a	槇 究	全体に、区分平均を若干上回る程度の評価を貰いました。 その中では、「Ⅰあなた自身について」の評価が全体より低めでした。 この辺りをどうすればいいのか。忌憚のない意見やアドバイスを貰えればと思います。
色彩設計演習 b	河西 大介	学生アンケートの結果を踏まえ、今後は授業の質をさらに向上させるために、事前課題や復習用資料を提供し、学生の予習・復習時間の確保と学習習慣の定着を促進していきます。
人間工学	佐藤 健	全14回、講義で乗り切りました。1個くらい、関心のあるテーマやトピックがあれば、学修の種として成功です。幅広く学ぶことの意義が理解できていると授業成果としては良かったです。
人体生理学	佐藤 健	2024年後期から、生理学の読み替え科目として、新たにスタートしました。生理学全般の生殖関係以外は、全体的な説明は行いました。多少とも、正しい知識を得て熱中症や老化に対する適切な所見を持ってもらいたいです。
生活環境科学	塩原 みゆき	授業の内容については満足している学生がいる一方、さらにこの分野を深く学びたいかについては、「どちらでもない」と答える学生が半数以上いた。毎回のレポートで提出が大変だったかと思うが、授業についても、さらに興味を持ってもらえるよう、資料等で工夫をしたい。

〔2024（後期）生活環境学科〕授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
生活環境学セミナー	大川 知子	1年間の研究室活動、大変お疲れ様でした。特に後期は、「産学プロジェクト」が2つあり、それぞれに内容の異なるもので、更に、他大学のみなさんとのワークでしたので、大変だったと思います。 様々な課題もあったと思いますが、みなさん、お一人お一人が真剣に取り組み、困難を自ら解決出来た姿は、頼もしく思いました。いよいよ、最終学年、大きな課題は「卒業研究」となりますが、頑張っていきましょう。
生活環境学セミナー	加藤木 秀章	近年のくらしだと4力等の学問を応用しつつ、高度な設計・デザインで作り出す能力が必要であり、本学卒業後でも重要なことになります。基礎学力の向上に寄与する復習等をしていくとより学修に効果的です。
生活環境学セミナー	佐藤 健	ゼミ活動、お疲れ様でした。週1コマなので、打合せの場所ですが、それ以外に活躍・活動できたなら十分な成果がでたことでしょう。
生活環境学セミナー	塩原 みゆき	ゼミ活動についてはかなり満足してくれていることが分かった。3年生のゼミ活動が4年次の卒業論文にスムーズにつながるよう、さらに、工夫をしたい。
生活環境学セミナー	内藤 将俊	皆さん、大変お疲れさまでした。Spring Schoolに始まり、コーリアンコンペ、2度の研究室改造設計施工プロジェクト、Summer School（自由参加）、ゼミ合宿（自由参加）、常磐祭でのPCルームの設計施工プロジェクト、市民開放イベント「光の庭」など、最もハードに学び続ける研究室で各自が大変に努力してくださいました。配属したころと比べて、信じられないほど成長したと思います。4年生になり、卒業研究がスタートします。引き続き積極的な姿勢で楽しみながら取り組んで下さいね。
生活環境学セミナー	槇 究	回答を促すのを失念していましたが、半数の回答がありました。満足度が100%だったので、良しとしたいと思います。特に、チームとしての活躍、自分の役割・立ち位置を見つけることを目標にしていますが、大体達成出来ていたのではないかと思います。次年度の卒業研究は、また違ったタスクになって来ますが、一緒に頑張っていきましょう。
生活環境学セミナー	一色 ヒロタカ	前期より取り組んできました3館4館前広場のベンチの活用プロジェクト及び、包括連携協定を結ぶ十日町の田野倉集落との活動に取り組んできましたが、これらの活動成果を常磐祭にて発表できたことは大きな成果とします。合わせて、3館4館前広場のベンチの活用プロジェクトについては、事務方へのプレゼンテーションもさせていただき、様々なフィードバックをいただく貴重な経験を得ることができ、次年度の新3年生へ継承できる素晴らしい機会になったと思います。身近な自分たちの生活するキャンパスを舞台にした社会実験は、自分ごととして社会課題(キャンパス内)とデザインの意義を実感する経験となるとと思いますので、今後も様々な課題にポジティブに向きあえるマインドを持ってもらえればと思います。
生活環境学セミナー	滝澤 愛	回答者が1名だけで受講者全体の意見ではないが、学生が自分自身につけた点数4点以外、オール5をつけていただきありがとうございます。4年生になっても一蓮托生で頑張っていきましょう。
生活環境学セミナー	安齋 利典	授業を受けていただきありがとうございます。 授業アンケートは回答者が少なかったので、なんとも言えないところがありますが、回答されてものに対してコメントさせていただきます。 大問Ⅰから、予習復習に時間を費やしたが、欠席が多かったのが残念です。 大問Ⅱは、全体に高評価で良かったです。 大問Ⅲも、全体に高評価でしたが、Q14.の「あなたがこの授業で自分に成績をつけるとしたら、成績評価は何ですか？」がやや低く、作品に自信が持てなかったのではないかと想像しております。
生活環境学演習	大川 知子	3ヶ月の授業、お疲れ様でした。10の研究室を回り、それぞれの先生方のことを知ると同時に、新たな知見も得られたことを期待します。希望が叶った方も、そうでない方も、『生活環境学セミナー』もまた、卒業に必要な科目ですので、それぞれの場所でしっかり取り組んでいただくことを期待します。
生活環境学演習	加藤木 秀章	研究室の活動からさまざまな特色が見れたとおもいます。今後も学修を頑張っていきましょう。
生活環境学演習	佐藤 健	10の研究室から「住環境・建築」や「プロダクト」「アパレル・ファッション」「コミュニティ」の4分野の全てを少しだけ体験できましたか？ゼミには、分かりますが、学科の学生さんとして、多くの考え方、問題のとらえ方、解決手法など様々な思考ができるように努力をしてください。

[2024（後期）生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
生活環境学演習	塩原 みゆき	3年次にどのゼミに行きたいかを見極めるための重要な授業と考えています。概ね、授業内容と方法については満足しているものの、授業に満足できなかった、自己評価が低い、意欲的に取り組めなかったという人もいます。対応する私たちの方も、しっかりと研究室の状況や内容説明ができるように努めたい。
生活環境学演習	橋 弘志	毎週、少人数のグループで各ゼミを回るという「生活環境学演習」、通常の授業とは異なる視点から、各研究室や教員の特徴に触れる機会となることを意図する科目です。3年のゼミ選びの際の一助とするのに加え、より幅広い分野に対する興味を引き立て、より広い視野で学んでもらえると嬉しいです。
生活環境学演習	内藤 将俊	10の研究室を巡り、様々な学びがあったことと思います。「住環境・建築」や「プロダクト」「アパレル・ファッション」「コミュニティ」の4分野の全てを体験したうえで専門領域にすすめることがこの学科の特徴です。是非とも各々の研究室で専門的な活動に積極的に取り組んでみて下さい。
生活環境学演習	槇 究	この授業に関するコメントは難しいです。ゼミ選択に役立つものであったことを祈ると共に、内容として学びのあるものになっていればと思うばかりです。次年度、所属ゼミでの活躍と成長を期待しています。
生活環境学演習	一色 ヒロタカ	着任初年度担当となりました当授業ですが、研究室を紹介していくという内容に対し、研究室の活動実績も2024年度前期分しかなく、他研究室と比較しますと、内容が想像し難いものであったと推察されます。教員努力として、今後の取り組み予定内容や、教員が建築・コミュニティの実務で取り組んでいるプロジェクトを紹介し、研究室での取り組みを想像できるように創意工夫を加えるかたちで実施をしました。そのような状況の中、2024年度の卒業研究及び研究室の活動は、1年という短い期間であったものの多くの実績を残すことができました。次年度以降、履修学生に対して研究室の活動を軸に、しっかりと理解を興味を持ってもらえる体裁にアップデートして取り組む予定です。
生活環境学演習	滝澤 愛	半期で4分野の全ての研究室を知り、残り2年の大学生活を自分が思い描いていた、突き詰めたかった、より専門性の高い充実な学びに繋がる研究室を選ぶことができましたか？大学だからこそその、専門家の先生のご指導の元、2年後の卒業発表会で大きく成長した姿、学修の成果を楽しみにしています。
生活環境学演習	安齋 利典	大問Iから、回答者は欠席が全体と比較すると少なく、よく理解できたことが分かりました。大問Ⅱは、6.のスピードや8.の質問のしやすさ等、ほとんどが高評価であり、分かりやすい授業となったかと考えております。大問Ⅲも、15.の満足度や16.意欲的な取り組みなども高評価であり、意欲的に取り組み、総合的に満足していることも分かりました。Q1.12の「具体的に成長を実感したこと」に対して、 ・自分のやりたいことが見つかった、明確になった。 との回答があり、狙い通りの授業になったかと考えております。
生活環境基礎c	塩原 みゆき	授業説明が分かり易く、授業に満足していると概ね答えてくれているので、この授業を行うにあたって、資料等を工夫していることが反映されていた。計算が不得意な学生が受講するケースが多いので、そのあたりについても、対策が必要と考えている。
生活機器設計演習	安齋 利典	授業を受けていただきありがとうございます。大問Iから、欠席が全体と比べると3倍も多くありましたが、事前事後学修に時間を費やし、よく理解できたことがわかります。大問Ⅱからは、全体的に分かり易かったようで安心しました。大問Ⅲからは、意欲的に取り組めて総合的に満足していることが分かりますが、 Q1. 14. あなたがこの授業で自分に成績をつけるとしたら、成績評価は何ですか？ に対して低く評価をしているので、自分の作品に自身が持てていなかったのかと想像しております。 Q1.12の「具体的に成長を実感したこと」に対して、 「イラストレーターや工房の器具の使い方が理解できた」という意見のほか「寸法を大切にすること」と言う制作に関して最も重要なことや「計画を立て見切り発車しないこと」と言う制作に関わらないことに気づいたという意見があり、実際に手を動かすことから知ることができたことが分かってきます。 Q1.19.の「自由記述欄」には「この授業で書きたい・作りたいモノを書く」ようお願いしました。意見としては、 ・銀粘土でピアスなど作るのも楽しそう ・お皿、グラスとか、ガラス細工 ・素材を使って加工してみたい ・棚作ってみたい との意見があり、何かを作ってみたいという意欲が感じられました。

[2024（後期）生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
生活空間設計製図 2 (Bクラス)	橋 弘志	設計製図2は、かなり課題に求められる内容が複雑になるので、与えられたプログラムに沿って緻密に考えること、利用者の視点になってきちんと必要な機能を満たすこと、従来とは異なる新しい空間体験・価値が得られること、そして建築全体としての完成度と魅力など、多様な視点からデザインに取り組む必要があります。教員2名体制の演習授業のため、それぞれ異なる視点からの評価・コメントとなるところは、戸惑うこともあるかもしれませんが、こうした授業の特徴とも言えます。問題点を指摘することもあります。それぞれのアイデアの良い点をなるべく伸ばしていくことを意図しています。
設計製図基礎 (Aクラス)	橋 弘志	今年から新カリキュラムがスタート、今まで2年前期で行っていた設計製図基礎が1年後期から始まりました。とくにこれまでと遜色なく進められたように思います。製図の基礎は、基礎を守ってゆっくり丁寧に進めていけば誰でも上達するもので、最初はかなり苦勞していた人も、真面目に取り組んでいくことで、かなり上達していたのではないのでしょうか。次のステップは、自分でデザインした空間を図面化してしていくことになります。いろんな資料も参考にしながら、表現力を高めていってほしいと思います。
設計製図基礎 (Bクラス)	橋 弘志	今年から新カリキュラムがスタート、今まで2年前期で行っていた設計製図基礎が1年後期から始まりました。とくにこれまでと遜色なく進められたように思います。製図の基礎は、基礎を守ってゆっくり丁寧に進めていけば誰でも上達するもので、最初はかなり苦勞していた人も、真面目に取り組んでいくことで、かなり上達していたのではないのでしょうか。次のステップは、自分でデザインした空間を図面化してしていくことになります。いろんな資料も参考にしながら、表現力を高めていってほしいと思います。
繊維高分子材料学	加藤木 秀章	授業内容の復習や身近な繊維製品についてふれるとより学修に寄与します。
統計の基礎	加藤木 秀章	予習・復習、身近な統計を考えることで、より学修効果を得ることができます。
福祉住環境論	橋 弘志	月曜の1限ということで、毎週朝早くからお疲れさまでした。この授業は知識を覚えたりするというより、従来の考え方、ものの見方に疑問を感じたり、別の視点から考え直したりすることを重視していました。「福祉」という概念が、特殊な人たちに対する政策や介護ということではなく、自分に置き換えて考えて、ふつうに生活できること、当たり前居られることの重要性に気づいてくれていると嬉しいです。